

助け合って やらいか！

あ
旦
開
新
聞



1. 稲作事業
2. 園芸事業
3. 薫細工事業
4. 山菜事業
5. 福縄づくり
6. 他の出来事

七月二十日、持続可能な地域づくりを目指して、道の駅「蔵」と「あさげの里」が業務提携しました。あげの里は蔵の販売チャネルを活用し、農産物や伝統工芸品を流通させ、蔵は人手不足をあさげのマンパワーで補うことなど、お互いに助け合っています。

(右の写真は契約書を掲げる金田社長と小池社長)

1. 稲作事業
2. 園芸事業
3. 薫細工事業
4. 山菜事業
5. 福縄づくり
6. 他の出来事



七月二十六日、KOAO取締役会の皆様が、あさげの里をご観察されました。今にも雨が振り出しそうな天気が、観察が始まると、雲の間から青空がのぞきました。観察はあさげの里から福縄工房の順でまわられ、メンバーを激励して頂きました。

【放棄地の再生状況を説明する伊藤さん】

今年は野菜畑が新規に三枚、借り出了したこと間に合わせて、梅雨が短く天気が続き、夏野菜も順調に生育しています。

七月二十九日までの、おせんじよ場への出荷数量は、キュウリ七千七百十七本、千両ナス千四百五十四個、丸ナス百十三個、ティザナス三百二十一個、米ナス四十個、ピーマン千八百十二個、ミニトマト千三百四十四個、大玉トマト百七十二個です。

七月十二日には二期分のキヤベツと三期分のキュウリの種蒔きをしました。

- ・芽掻き／マイカ／線張り
- ・ほおづきの消毒／色付け
- ・収穫／出荷
- ・消毒（三回／期）
- ・「蔵」向けトウモロコシ栽培
- ・土手の草刈り

- ・キヤベツ、キュウリの種蒔き
- ・苗の誘引と消毒
- ・ドローンによる施肥
- ・園芸事業
- ・ジャガイモの出荷
- ・土手の草刈り

- ・キユウリ、ナス、ピーマン、トマト、モロッコインゲン、モロヘイアの収穫／出荷
- ・キヤベツ、キュウリの種蒔き
- ・「蔵」向けトウモロコシ栽培
- ・土手の草刈り
- ・消毒（三回／期）
- ・収穫／出荷

園芸事業



（とうもろこし栽培）

ドローン導入後、初めて田んぼに施肥をしました。肥料を積んでの飛行は初めてで、肥料を均一に撒くのは難しく、飛行精度の必要性を感じました。使いこなせば大幅な作業の負荷軽減と、時間短縮が図かれます。農薬の飛散や飛行の安全性には十分に注意して進めます。

【ドローンによる肥料散布】

稻作事業

地域共生推進室 発行
【22号】
2022年8月5日発行

ご意見・質問は下記のメールまでどんどんお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント！
mail : ta-hara@koaglobal.com



「甘太郎」は茎の背が高く、倒れるリスクがありますが、収穫できれば甘味は一番です。

【写真右のがんみつ姫、左が甘太郎】



出来たこと間に合わせて、梅雨が短く天気が続き、夏野菜も順調に生育しています。



翌朝ほおづきの根本から刈り取り選果場に運び、外観選別です。選別基準は枝の長さ、実の数、実の外観で秀、優、良の等級に分けペール缶の水につけて置きます。



ほおづきの出荷に向けて、三日前から準備作業に入ります。七月二十九日に枝の頭三分の一を残し葉を取ります。茎を持ち折り下げるときと良い音とともに葉が取れます。



猛暑の中でのキュウリ棚の収穫

【甘太郎の糖度】



稻作事業拡大にともない、ヤンマー製四条刈りのコンバインが導入されました。

（その他）



南信州米俵保存会様より年末用いめ飾り、「福縄」五百個の製作依頼があり現在製作中です。

薰細工事業



七月、数回に分けて畠の草取りを行いました。昨年播種した畠には、根が張る雑草が大量に生え、センブリを草と一緒に抜かないように雑草抜きで一本ずつ慎重に抜きました。

センブリ栽培